

肢体不自由児施設における母子関係

寺脇 保 (鹿児島大学小児科)
藤野 信子 (鹿児島大学小児科)

はじめに

障害児の母子関係については、以前から多くの研究がなされているが、今回は肢体不自由児施設における母子関係を調べたので報告する。

対象および方法・目的(表1)

肢体不自由児施設Y学園に入園中の障害児を持つ母親を対象とし、アンケート形式で質問した。アンケートIでは、時間的な流れなどから12の項目に分け、それらを更に細分して120余りの質問とし、母親の感情的な面などを中心に調べた。解答は大部分記述式であった。アンケートIIでは、障害の受容段階とサーストンの態度尺度構成法を使って作られたもの6つの項目について質問し、それらの間に関係がないかを調べた。

結 果

アンケートI：対象児に関する事項。家族構成など主な質問項目に対する解答は、表2および表3①②③に示した。アンケートIは、質問項目が大変多く、ここにあげたものはその一部である。その他、対象児入園後の家庭内の変化・母親の人生観の変化・子供に対する考え方や愛情の変化、面会や外泊に対する考え方、施設入所に対する考え方等々についても質問し解答を得ている。たとえば、施設に入所したことで対象児に対する愛情の質や量に変化があったかという問いでは、78.3%がイエと答え、変化があったとする者は21.7%であり、変化があったとする答えでは、預けたことで愛情がより一層強くなったという様な答えが大半で、だんだん愛情が薄らいできたと答えた者は一人だけであった。

アンケートII：障害の受容段階を表4 1) に示す様に3群に分けたところ、A群は25.7%、B群は39.6%、C群は34.7%であった。このアンケートは、受容段階

を表1に示す6つの項目との間に何らかの関係があるのではないかという考えから実施したが、いずれの項目についても関係はみられなかった。6つの項目、および年齢・在園年数の間の関係については、表4 3) に示す項目の間にそれぞれ関係がみられた。その結果、年齢が高くなる程、在園年数が長くなる程、自分の子供の入園を肯定する傾向があり、また施設入所などに関しては、自分の子供と他の一般の障害児に対して同様の考え方をしていることがわかった。更に、一般に障害が強くても子供は家で育てるべきだという考えの人に外泊の重要性を強く感じている傾向があり、自分の子供の在園年数が長くなるにつれ、他の障害児についても入園を肯定する傾向があることがわかった。子供の重症度と各項目との関係では、「職員について」の項で重心児と非重心児の間に有意差があり、重心児の母親の方が職員に対して遠慮やひげめなどの傾向があるようであった。

ま と め

まだまだ十分に検討されておらず結論めいたことは言えないが、まとめとして以下の様なことをあげたい。

- (1) 障害児が施設に入所するまでの母親の心の動きがわかった。
- (2) 障害児を施設に入所させても母親の子供に対する思いは変わらず、将来に対する不安など心労は軽くなっていない。
- (3) 面会や外泊などの時、一見平静のように見えているが、母親の心は喜び・悲しみなど色々な感情が交錯し、子供を入園させておくこと事自体についても葛藤している。
- (4) 自分の子供の在園年数が長くなるほど、自分の子供だけでなく他の障害児についても入園を肯定する傾向があることがわかった。

表1

肢体不自由児施設における母子関係

アンケートI.		アンケートII.	
対象	肢体不自由児施設や園に入園中の障害児とその母親		
質問	(1)対象児について (2)家族構成等について (3)妊娠中の経過について (4)出産時の状況について (5)新生児期 (6)異常に気づいた頃からの診断 (7)診断がはっきりしてから (8)入園 (9)入園後 (10)面会について (11)外泊について (12)その他	(1)入園について (2)兄弟はどうかについて (3)外泊について (4)対象児について (5)職員について (6)一般の障害児について	障害の受容段階と6つの項目
回収	104名/153名(回収率67.1%)	117名/152名(回収率77.0%)	

表2

アンケートI.

対象児について

年齢	3才 ~ 18才(平均10.7才)	
性別	男 53.8%	女 46.2%
在園年数	1年未満 ~ 14年(平均5.5年)	
疾患名	CP 61.6%	その他 38.4%
お何子か	お子 39.4%	お子 38.5% その他 22.1%

家族構成等について

父親年齢	29才 ~ 74才(平均42.0才)	
父親学歴	小学卒	1.1%
	中学卒	39.1
	高校卒	41.4
	大学卒	12.6 その他 5.7
母親年齢	27才 ~ 55才(平均38.7才)	
母親学歴	小学卒	2.3%
	中学卒	29.9
	高校卒	60.9
	大学短大卒	3.4 その他 3.4
母親就労率	44.1% (対象児妊娠中の就労率44.1%)	
兄弟数	1 ~ 10人(平均2.83名)	
血縁結婚	11.9%	
同居の祖母	あり 18.6%	

表3(1)

問. 異常に気づいた頃のお母さんの気持ちは、どんなものでしたか(85)

心配・不安な気持ち	20.0%
早産・未熟児であったので、あまり心配しなかった	11.8
1日でも早く治してやりたい	10.6
途方にくれた・オロオロした	10.6
ショックであった	9.4
まさか・信じられない・信じたくない	8.2

問. お母さんが最初に医師から異常を指摘された時、病名や説明を聞いた時、お母さんはどんな気持ちでしたか(69)

ショックであった	26.1%
まさか・信じられない・信じたくない	15.9
一緒に死にたい	10.1
心配・不安	8.7
どんな事でもして治してやろう・できるだけの事をしよう	8.7
やはりそうだったか	7.2

問. 診断がはっきりしてからお母さんは、この子供さんに対してどんな気持ちをもちましたか(72)

できるだけの事をしよう・なんとか治してやろう・がんばろう	41.7%
かわいそうでたまらない	9.7
申し訳ない・自分の責任だ	8.3
誠一杯かわいがろう・つくしてあげよう	6.9
心配・不安	5.6

問. 施設にあがりなうと考えた理由は何ですか(89)

- 訓練に関する表現
- 教育(入学・義務教育)
- 母親(原因(妊娠・出産・健康・精神的)
- 友達・集団生活
- 勧められた
- 他の兄弟のため

問. 入園が決った時、お母さんはどんな気持ちになりましたか(91)

さびしい・悲しい・つらい	26.4%
かわいそうだ・ふびんだ	19.8
入園させたくない・一緒について行きたい	12.1
心配・不安	11.0
これで安心だ・よかった	9.9

問. 面会の当日、子供さんに会われて主に感じる感情はどんなものでしたか(71)

元気でいてくれてよかった	23.9%
子供の成長・変化等にびっくりする・楽しみ・誇り	16.9
離れていても親子だ・お母さんだ・なつかしくてよかった	8.5
かわいそう・あわれ	7.0
抱きしめてやりたい	5.6
うれしい	5.6
へがでさければなあ・祈るような気持ち	5.6
ごめんね	4.2

表 3 (2)

問. 面会の時、お母さんはどんな態度で子供さんと接しますか (65)

ほほすける・たろこしたり・おんがしたりする・抱きしめる	33.8%
いつも一緒にいれないで甘えさせ子供が言葉を何でも話せる	12.3%
特にぶつつかのかわらぬ態度	10.8%
やさしい気持ちで接する	9.2%
片時も子供のおそばを離れない	6.2%

問. 面会が終わって帰られる時のお母さんの気持ちはどんなのですか (64)

さびしい・泣きの気分である・後髪ゆめは思いである	32.2%
お母さん一緒に帰りたい	22.6%
とても耐えられない	7.1%
安心・すっきりした気持ち	6.0%
泣かぬければいいが……	6.0%
帰りにくいなー一緒にいたい	3.6%

問. 外泊中のお母さんの気持ちは、どんなものですか (66)

うれしい・たのしい・ウキウキする	27.3%
楽しいものにしてやろう・充分家庭の味をあげあわせやろう	12.1%
家の中が明るくなり家族全員がそろって家庭らしくなる	10.6%
お母さんずらと一緒に暮らせたら……	7.6%
けがや病気がいれん等を心配いように気をつける	7.6%
うれしいが反面、不安・心配がある	6.1%

問. 外泊が終わり、子供さんと園に帰る時のお母さんの気持ちは (70)

とてもさびしい・つらい・悲しい・泣きの気分	47.1%
お母さんずらと家においでない	11.4%
もう少し家にいさせてやりたい	10.0%
さびしい反面、ほっとする・無事にすませてよかった	8.6%

問. 入園している子供さんの事を普段の生活でよく考えますか

はい 90.8% → 元気でやっていますかどうか

↓

御飯はちゃんと食べているかどうか	同年齢の子供とみに時	今頃、何をしているのだろうか
食事の時	常に	将来はどうなるのだろうか
夜やすんだ時		

問. この子供さんに関して現在心配な事は何ですか (82)

へができるようになるのだろうか	25.6%
将来のと(両親が年老いたら、もしも事があたら……)	20.7%
退園後のと	14.6%
病気のと(かぜ・肺炎)	9.8%
けいれんのと	6.1%

表 3 (3)

問. 次の子供さんをもつたいと思つた理由は (46)

本人のために	47.8%
他の兄弟のために	13.0%
どうして一人は健康な子供を育てたい	8.3%
男の子(女の子)がほしい、子供は二人(三人)ほしい	各6.5%

問. 次の子供さんをもつたいかたに理由は (35)

本人のために	25.7%
母親の身体の問題	22.9%
もう既に子供が複数いたから	20.0%
同じような子供ができたら……	17.1%

問. 現在、お母さんはこの子供さんをどう思っていますか (60)

へができるようになってほしい	25.0%
かわいそう・あわれ	16.7%
誰よりも一番大切・いとおい・かわいい	11.7%
一日早く家につけ帰りたい一緒にくらしたい	8.3%
心配・申しわけない・将来の不安のみである	各5.0%

表 4

アンケートⅡ.

1) 受容段階

- A. 障害児と一緒に歩む姿勢の確立した段階
- B. (休息(考え疲れた)に入っている段階
疲れたあとにくるなげやりの段階
孤立し、一人で考える段階)
- C. (我が身の不幸をさるむ段階
半信半疑の段階)

2) 受容段階と6つの項目・年齢・在園年数の間には関係はみられるか。

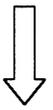
3) 6つの項目及び年齢・在園年数の間の関係について入園について ↔ 一般の障害児について ↔ 外泊について



- 4) 子供の重症度と各項目について「職種」についてで重症児(非重症児)間に有意差あり(P<0.05)
- 5) 疾患別(CPと非CP)と各項目について有意差なし



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



はじめに

障害児の母子関係については、以前から多くの研究がなされているが、今回は肢体不自由児施設における母子関係を調べたので報告する。